

## 第37期第6回理事会議事録

日 時：2013年6月20日（木）13時30分～18時00分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席理事：新野，藤谷\*，経田，近藤，佐藤（正），中島\*，中村（健），中村（尚），平井，  
藤部\*，三上，余田，以上12名 \*議題7から途中退席

Web会議システムを通じた出席理事：長谷部，以上1名（理事現在数20名）

出席監事：岡本，高谷，以上2名

その他の出席者：田沢，下道，渡辺（事務局）

### 議 題

1. 第37期第5回理事会議事録の確認

2. 2013年度総会議事録の確認

3. 会員の新規加入等について

個人会員11，退会2を全会一致で承認。2013年6月18日現在，会員数3,672名で個人会員は3,414名。

4. 支部規程の改正

北海道支部，東北支部，中部支部の支部規程の改正について，全会一致で承認した。  
また，各支部の取り組み等は支部長会議の議題とすることを確認した。

5. 寄付金の取扱いについて

一昨年秋に逝去された岸保勘三郎元理事長の奥様からの寄付金を基本財産に繰り入れ、その運用益を「岸保賞」の運営資金の一部に充てることが提案された。このことを全会一致で承認した。

6. 日本学術会議大型計画マスタープラン策定に関する今後の対処について

日本学術会議では，今後学術大型研究計画（約200件）を選別した後，その内の約1割を速やかに実施すべき計画「重点大型研究計画」に選択する。このマスタープラン策定の方針に基づき，今後もし当学会提案の2件に対する意見聴き取りがあった場合への対処方針を議論し，当学会よりの優先順位を決定した。

7. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：広田知良

転載元：Fig. 7, T. Hirota, Y. Iwata, M. Hayashi, S. Suzuki, T. Hamasaki, R. Sameshima, and I. Takayabu ; Decreasing soil-frost depth and its relation to climate change in Tokachi, Hokkaido, Japan. J. Meteor. Soc. Japan, 84, 821-833, (2006)

転載先：Plant and Microbe Adaptations to Cold in a Changing World: Proceedings of the Plant and Microbe Adaptation to Cold Conference, 2012, Edited by

Ryozo Imai, Midori Yoshida, and Naoyuki Matsumoto, Published by Springer, New York, USA, To be published in June 2013

①申請者：Dr. Yang Kun

転載元：Fig. 4, Kun Yang et al., Initial CEOP-based Review of the Prediction Skill of Operational General Circulation Models and Land Surface Models, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 85A, 99-116

転載先：Land Surface Observation, Modeling and Data Assimilation

②申請者：（公財）世界自然保護基金ジャパン

転載元：小西雅子，再生可能エネルギーの大幅導入に成功したスペイン—その背景に「気象予測」を活用した独自の挑戦あり，天気 Vol. 59, No. 10, 967-974

転載先：（公財）世界自然保護基金ジャパンホームページ

(<http://www.wwf.or.jp/activities/2013/04/1129508.html>)

## 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：国際第四紀学連合第 19 回大会

主催：国際第四紀学連合、日本第四紀学会

期日：2015 年 7 月 27 日～8 月 2 日

場所：名古屋市名古屋国際会議場

名義：後援

②名称：JASIS2013 (Japan Analytical & Scientific Instruments Show)

主催：一般社団法人日本分析機器工業会、一般社団法人日本科学機器協会

期日：2013 年 9 月 4 日～9 月 6 日

場所：幕張メッセ国際展示場

名義：後援

③名称：第 11 回 高校生科学技術チャレンジ (JSEC2013)

主催：朝日新聞社，テレビ朝日

期日：募集告知 2013 年 6 月下旬，募集 9 月 1 日～10 月上旬，表彰式 12 月 8 日

場所：日本科学未来館

名義：後援

## 3) その他

①5 月 21 日：内閣府から 2013 年度夏季の節電及び省エネルギー対策に関する取組の依頼

②細則改定に伴う表彰ページの掲載内容見直し等の報告.

③会員の電子メールアドレスの収集と活用に関する検討状況の報告.

会計…2013年5月分の収支及び現預金検査報告.

天気…Vol. 60 No. 6 (2013年6月号) の掲載記事と，Vol. 60 No. 7, 8 (2013年7, 8月号) の予定記事の報告.

・非常勤の編集書記の採用を実施したこと，7月から編集作業に就く予定であることが報告された.

気象集誌…Vol. 91 No. 4の掲載予定記事の報告.

- ・国際情報発信強化の取組として、リーフレットを作成していること、活動支援のための新たなスタッフを採用する予定であることが報告された.

気象研究ノート…編集作業の進捗状況の報告.

- ・『1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関する著作権の学会への委譲についてお願い』に係わる作業進捗状況の報告. 会員からの意見と回答内容が示され、この内容で回答することを了承した.
- ・気象研究ノートに係る情報更新を円滑に進めるため、電子情報委員会委員を兼務する委員を選定したことが報告された.

SOLA…投稿論文の処理についての報告. 掲載料の免除申請1件を受け付けたことの報告があった.

講演企画…著作権委譲手続きについて学会としても議論中であることから、今秋季大会では、講演企画委員会の暫定的運用として大会発表規定に委譲手続きを盛り込むことを了解した. 今後、申込断念のきっかけとならないよう、規程について検討することを確認した

企画調整…今期第1回評議員会の準備状況についての報告. 同会合の議事次第を確認し、了承した.

- ・今期第1回支部長会議の議事次第を確認し、了承した.
- ・倫理規程案及び「個人情報等取扱要領案」等の原案について議論した.
- ・2013年度総会議案等に寄せられた会員からの質問に対する回答内容を確認し、若干の加筆修正のうえ、回答を「天気」に掲載することを承認した.

学術…報告書「日本の気象学の現状と展望」への会員からの意見募集を近々開始することが報告された.

- ・「地球環境変動の研究と自然災害現象の実態とメカニズムの解明のための航空機の利用に関する提案」への会員からの意見募集を実施中であることの報告. 多くの意見が集まっているため、募集期間を延長した.
- ・地球観測衛星部会は「わが国の今後の衛星観測計画について」を取りまとめ、「天気」6月号に掲載予定であることが報告された.
- ・数値モデル部会（仮称）についての報告. 秋頃の発足を目指している.

表彰…山本・正野論文賞受賞候補者の推薦について、推薦委員会より候補者が提示された. 今後、全理事の投票により受賞者を決定する.

- ・堀内賞受賞候補者の推薦について、推薦委員会より候補者が提示され、推薦理由についてチェックした. 今後、全理事の投票により受賞者を決定する.
- ・奨励賞受賞候補者の推薦について、推薦委員会より候補者が提示された. 今後、全理事の投票により受賞者を決定する.

国際学術交流…今年の第6回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議の準備状況の報告.

- ・2014年のAOGS札幌大会時に日中韓気象学会共催国際会議開催とすることの提案に

ついて、理事長名の文書にて中国側に伝達することが長谷部理事より提案され、了解した。

- ・IFMS (International Forum of Meteorological Societies) 第3回会合の出席者 (理事長代理) を余田理事とすること、また旅費申請と出席への対処が示された。それぞれの内容を確認し、余田理事が出席することを了承した。

電子情報…ホームページの管理と更新等、定常作業を支障なく行っていることが報告された。

- ・学会メーリングリストを運用している天気サーバの更新についての検討状況の報告。
- ・2012年度版の学会刊行物DVDの作成進捗状況の報告。全てのデータが揃うのを待っている状況。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。

- ・日本学術会議地球惑星科学委員会における「宇宙基本計画 (案)」に対する活動についての報告。

人材育成・男女共同参画…労働契約法の改正に関する動向についての報告。

## 8. その他

佐藤正樹理事より、今後の宇宙開発体制のあり方に関する第3回「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」への出席報告があった。会合での合意事項には、リモートセンシング・コミュニティの形成や必要とする衛星ミッションの優先度の議論が必要なこと等がある。

平成25年7月25日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 岡本 幸三

監 事 高谷康太郎